

テュートリアル課題 咳、鼻水、関節痛

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2013-11-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/30180

2009 年度 Block. 5

課 題 No. 4

課題名：咳、鼻水、関節痛



■断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

中村さんは、会社員の48歳の男性です。

職場検診時に胸部レントゲン異常陰影を指摘されました。
検診の数ヶ月前から時折咳や鼻水や関節痛がありましたが、
放置していました。

最近同僚も関節痛が続くとのことで病院を受診し精密検査
のため入院中であることを思い出しました。

シート2

胸部レントゲンは右肺上葉に異常陰影（資料1）がありました。中村さんは精査のため入院しました。

喀痰検査では異常はありませんでした。胸部CTで写真（資料2）の像がみられました。そこでCT下肺生検を受け退院となりました。

退院後も同様の症状が続き、鼻閉さらに関節痛の増悪と、目の充血、嘔声も出現してきました。

シート3

CT下肺生検の組織像は（炎症性偽腫瘍）でした。
つぎの外来受診時検査データも悪化していました（資料
3）。

シート4

確定診断のため腎生検を施行しました。

病理組織で激しい変化がみられました（資料4）。

確定診断がつき、担当医から説明を受けましたが、不安になりました。さらに特定疾患の申請について説明を受けました。

シート5

ステロイドとシクロホスファミドを用いた治療が開始されました。肺陰影や腎機能所見、さらにC-ANCAも低下しました。